

2018年度課題発見ゼミナールガイダンス
180608

佐藤裕(心身健康コース)クラス

テーマ 「言語について考えるー 言語と文化」

「--言語とコミュニケーション・発達・教育--」

テーマの趣旨

「世界中にある言語ー日本語」
「日本語(標準語)ー方言」

言語(日本語あるいは方言)に
関連する文化的・教育的問題を
挙げその解決法を考える

テーマの手がかり例

・もしも、外国から来た人と
一緒に仕事をするようになったら？

・もしも、
引越し先で、自分の使用している方言に
違和感を感じたら？

テーマ例

- ・ (日本における) 英語教育は正しい方法か？
英語の早期教育は是か非か？
日本以外の国ではどのように英語教育を？
- ・ コミュニケーションの文化的差異？
- ・ 方言を教育でどう扱えばいい？
国語教育では？ 言語聴覚士はどうすればいい？

授業の目的=身につけるべき能力

- 多面的な見方:「当たり前」「よいこと」と思われていることを見直す、批判する。
- 俯瞰的に物事を捉える。メタ認知的。
- 論理的思考: 思いつき・思い込み・感情でなく、事実と論理に基づいて判断する。
- 事実と論理に基づいて、相反する考えの人とも対話し、合意形成をする。

授業の概要=具体的な作業

- 文献を調査する。
- 実地調査・実験を実施してもかまいません。
- 内容をまとめて、他の学生に報告する。
- 「言語」についての基本的な知識を共有する。
- 根拠を示して自分たちの意見を主張する。
- 事実と論理に基づいて、グループメンバー内で合意形成する。
- パワーポイントを使った発表会
- 引用や文献表など、基本的な形式にのっとり資料を作成する。
- 他のグループの発表を聞いてディスカッションし、評価する。

授業計画

最初の三回は、合同で行います。

- ① 講義「言語をめぐるさまざまな問題(1)」
(山口先生)+質疑応答
 - ② 講義「言語をめぐるさまざまな問題(2)」
(熊坂先生・佐藤)+質疑応答
 - ③ 講義のまとめとプレゼンテーションの
評価基準、文献検索法等(合同)
- その後、クラスに分かれて共同研究
 - 学期末に発表会。

夏休みにも読書しましょう

参考文献

- 久保田竜子『グローバル化社会と言語教育：クリティカルな視点から』くろしお出版
- 奥野久『日本の言語政策と英語教育：「英語が使える日本人」は育成されるのか?』三友社出版
- C.M.ショアー『言語発達ってみんな同じ？言語獲得の多様性を考える』学苑社
- 今井むつみ『ことばの発達の謎を解く』筑摩書房
- 橋本聡, 原田真見『言語と社会の多様性』北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院

夏休みにも読書しましょう

参考文献

- 野田尚史『日本語教育のためのコミュニケーション研究』くろしお出版
- 森山進『英語社内公用語化の傾向と対策：英語格差社会に生き残るための7つの鉄則』研究社
- 山久瀬洋二『言い返さない日本人：あなたの態度が誤解を招く!』IBCパブリッシング
- 佐藤亮一『滅びゆく日本の方言』新日本出版社
- 井上史雄, 木部暢子『はじめて学ぶ方言学：ことばの多様性をとらえる28章』ミネルヴァ書房

授業の概要＝具体的な作業

- ① 基礎的な知識を身につける
 - ・最初3回の講義
 - ・その後の個別クラスでの共同研究

→まずは、各自が読んできた本の紹介と質疑応答。
- ② 「論じるべき点」を見つける
 - ・基礎的な知識が共有されてきたところで、「論じるべき点」についての合意を形成する。
 - ・足りない部分については引き続き文献を読む。
- ③ 発表原稿を作成する
 - ・各自が書いてきた内容をもとに、よりよい原稿に。
 - ・足りない部分については引き続き文献を読む。

本を読んだら「読書ノート」に記録

- ・ 概要・重要な論点
 - ・ 考えを深めるべき点・自分なりのアイデアなどをまとめる。
 - ・ 次に読むべき本
 - 本(研究文献)には、「文献一覧」がついている。
 - 本文中で何度も言及された本、重要なものとして取り上げられた本などを、次に読んでみる。
- その分野の体系的な知識を身につける

すべての研究の基礎

- 文献を読み、その分野における基礎的な知識を身につける。
 - 複数の文献を読み、多様な視点を身につける。
 - 根拠を示しつつ、自分の意見を主張する。
 - 対立する意見を持つ人と対話し、合意形成する。
- 民主主義社会を支える必須の能力でもある。